

8月24日 8:45-9:45 A会場	
8:45	<u>重宇 1</u> 渡邊 勇輝 (M1) 波動光学で見るブラックホール
9:00	<u>重宇 2</u> 天羽 将也 (M1) 4次元 Einstein-Gauss-Bonnet 理論における 静的球対称ブラックホールの周りの性質
9:15	<u>重宇 3</u> 郭 優佳 (M1) AdS background の4次元 Gauss Bonnet 時 空における球対称ブラックホールの熱力学, 相転 移, Joule Thomson 効果について
9:30	<u>重宇 4</u> 野村 皇太 (M2) 一般的な非線形電磁気の枠組みにおけるブラック ホールの安定性
8月24日 11:15-12:15 B会場	
11:45	招待講演 小林 努氏 (立教大学) 一般相対論の拡張と検証
8月24日 15:45-16:45 B会場	
15:45	<u>重宇 5</u> 秋葉 健志 (M1) 宇宙初期のクエーサーによる 21cm 線シグナル へ影響
16:00	<u>重宇 6</u> 坂本 陽菜 (M1) 初代星が再電離に与える影響と 将来観測機器での 観測可能性
16:15	<u>重宇 7</u> 角谷 健斗 (M1) 銀河団での散乱によって生じる CMB の偏光を用 いた密度ゆらぎの再構築
16:30	<u>重宇 8</u> 山下 晃毅 (M1) 大スケールの非一様等方性を持つ宇宙での構造形成
8月24日 17:00-18:00 B会場	
17:00	招待講演 小松 英一郎 (マックス・プランク宇宙物 理学研究所) 原始重力波
8月25日 8:45-9:45 B会場	
8:45	<u>重宇 9</u> 日下 公亨 (M1) 重力波信号の検出に用いる Matched Filter につ いて
9:00	<u>重宇 10</u> 豊島 弥洋 (M1) バースト重力波のデータ解析
9:15	<u>重宇 11</u> 窪田 圭一郎 (M1) Effective-one-body 形式
9:30	<u>重宇 12</u> 中村 拓人 (M1) ブラックホール周囲の光子球と重力波の準固有振動

8月25日 14:30-15:30 A会場	
14:30	<u>重宇 13</u> 荻尾 真吾 (M1) 銀河中心領域での MeV ガンマ線探査から探る暗 黒物質
14:45	<u>重宇 14</u> 阿部 正太郎 (M1) ダークマター探索の現状と将来
15:00	<u>重宇 15</u> 谷口 貴紀 (M1) 擬似スペクトル法を用いた cosmic shear パワー スペクトルの測定手法
15:15	<u>重宇 16</u> 村上 広椰 (M2) 機械学習を用いた暗黒物質質量への制限
8月25日 15:45-16:45 A会場	
15:45	<u>重宇 17</u> 森下 薫能 (M1) 複数場に拡張したインフレーションモデルの検証
16:00	<u>重宇 18</u> 三倉 祐輔 (M1) Inflation in the Palatini formalism
16:15	<u>重宇 19</u> 柄本 耀介 (M1) インフレーションにおける原始揺らぎの非ガウス 性について
16:30	<u>重宇 20</u> 岡野 創 (D1) 背景重力波の非ガウス性の直接観測可能性
8月25日 17:00-18:00 A会場	
14:30	<u>重宇 21</u> 三木 大輔 (M1) 重力相互作用による量子もつれの生成
14:45	<u>重宇 22</u> 吉田 萌生 (M1) 量子ビット回路での Hawking 輻射のモデル化に よるファイアウォールの再現
15:00	<u>重宇 23</u> 佐藤 琢磨 (M1) ブラックホール近傍の漸近的対称性
15:15	<u>重宇 24</u> 古郡 秀雄 (D1) 場の理論のドレス状態から探る BMS 漸近対称性
8月26日 10:00-11:00 A会場	
10:00	<u>重宇 25</u> 佐藤 崇永 (M1) アキシオンと天体進化
10:15	<u>重宇 26</u> 物部 武瑠 (M2) 初期宇宙における Primordial BlackHole の放 射
10:30	<u>重宇 27</u> 沼尻 光太 (M1) $f(R) = R + \alpha R^2$ gravity における中性子星 の質量-半径関係: purely metric formulation と torsion formulation の比較

重力・宇宙論

コンパクト天体・宇宙素粒子

講演プログラム

	8月26日 11:15-12:15 A会場		8月24日 13:15-14:15 A会場
11:15	重宇 29 大河内 雄志 (M1) すばる HSC のデータを用いた銀河のクラスタリングと弱重力レンズ効果の二点相関による重力理論の検証法	13:15	コン 1 吉武 知紘 (M2) X 線突発天体 MAXI J1820+070 の多波長 SED 解析
11:30	重宇 30 迫田 康暉 (M2) Quadratic Estimator を用いた重力レンズ測定と想定されるバイアス	13:30	コン 2 柴田 真晃 (M1) 食の形状変化による IW And 型矮新星のモデルの検証
11:45	重宇 31 河合 宏紀 (M1) 深層学習を用いた重力レンズマップのノイズ除去	13:45	コン 3 Yoo Seokhyun (M1) MAGIC ガンマ線望遠鏡によるブレーザー S5 0716+714 のフレア観測
	8月26日 13:15-14:15 A会場	14:00	コン 4 反保 雄介 (M2) First Detection of Superoutbursts during Rebrightening Phase of a WZ Sge-type Dwarf Nova
14:30	重宇 33 村田 知瞭 (M1) 非等方時空における Spectator axion-SU(2) モデルの等方化についての解析		8月25日 11:15-12:15 A会場
14:45	重宇 34 三嶋 洋介 (D1) 原始重力波のスペクトル指数が正となるスローロール・インフレーションモデルにおける再加熱機構	11:15	コン 5 古野 雅之 (M2) 孤立ブラックホールにおける低光度降着流の広帯域スペクトル計算
15:00	重宇 35 斎藤 大生 (M1) Barrow entropy と時空の熱力学を用いた修正宇宙論	11:30	コン 6 喜友名 正樹 (M1) 放射冷却と磁場の乱流化による定常円柱状ジェットの加速機構
15:15	重宇 36 間仁田 侑典 (M2) “空間方向”の一般座標変換に対する不変性を破るダークエネルギーの低エネルギー有効場理論	11:45	コン 7 宇野 孔起 (M1) 爆発的質量放出により駆動される突発天体モデル：特異な突発天体 AT2018cow への適用
	8月27日 10:00-11:00 A会場	12:00	コン 8 道策 皓平 (M2) 重力崩壊型超新星爆発における磁気流体ジェットの線形解析
10:00	重宇 37 高島 智昭 (M1) 5 次元宇宙と膜宇宙 ブレーンワールドの重力		8月25日 13:15-14:15 B会場
10:15	重宇 38 古賀 一成 (D1) 真空崩壊におけるバブル時空の生成と触媒効果による宇宙定数の決定	13:15	招待講演 大須賀 健 (筑波大学) 次世代のブラックホール天文学 (入門)
10:30	重宇 39 田中 海 (M1) 宇宙の真空泡のダイナミクスと不安定性		8月25日 14:30-15:30 C会場
10:45	重宇 40 時 聡志 (M2) マイクロレンズ効果による宇宙ひもパラメータの制限	14:30	コン 9 赤穂 龍一郎 (M2) 大質量星の重力崩壊における多次元一般相対論的 Boltzmann ニュートリノ輸送
	8月27日 11:15-12:15 A会場	14:45	コン 10 佐々木 俊輔 (M1) 3 次元対流効果を加えた超新星爆発の球対称 1 次元シミュレーション
14:30	重宇 41 浅見 拓紀 (D1) 漸近 AdS 時空における Einstein-Vlasov 系の熱的安定性	15:00	コン 11 齋藤 晟 (M2) 光度曲線の系統的解析で探る超新星の多様性
14:45	重宇 42 櫻井 優介 (M1) (1+1) 次元 Infinite Derivative Gravity における厳密解と時空特異点の回避について	15:15	コン 12 松田 将大 (M2) すばる HSC-SSP transient survey を用いた明るい超新星の光度分布調査
15:00	重宇 43 太田 溪介 (M2) Janis-Newman Algorithm とその拡張について		8月25日 17:00-18:00 B会場
15:15	重宇 44 原 健太郎 (PD) アインシュタイン計量からインスタントを作る	17:00	コン 13 高橋 幹弥 (M2) 一般相対論的輻射輸送コード ARTIST の空間 3 次元化
		17:15	コン 14 武者野 拓也 (M1) Ly α Photon の輻射輸送を考慮した超巨大ブラックホール形成の研究に向けたレビュー
		17:30	コン 15 尾形 絵梨花 (M1) Super-Eddington 天体に対する dusty-gas の Hoyle-Lyttleton 降着
		17:45	コン 16 北島 歆大 (M1) 相対論的流体力学の SPH 法を用いた数値計算法

コンパクト天体・宇宙素粒子

銀河・銀河団

8月26日 8:45-9:45 A会場		8月24日 8:45-9:45 C会場	
8:45	コン17 橋山 和明 (M1) パルサー磁気圏の粒子加速機構解明へのこれまでとこれから	8:45	銀河1 大滝 恒輝 (M2) ダークマター欠乏銀河はどうやってできたのか?
9:00	コン18 南木 宙斗 (M1) 異なるクランピートラスモデルの X 線スペクトル解析における系統誤差の評価	9:00	銀河2 数野 優大 (M1) 天の川銀河における Subhalo の衝突過程
9:15	コン19 後藤 瞭太 (M1) ピッチ角分布の非等方性を考慮に入れたガンマ線バーストのシンクロトロン放射モデル	9:15	銀河3 石崎 滉也 (M1) 銀河団 RXJ1347-1145 の数値シミュレーション
9:30	コン20 鹿内 みのり (M2) 電波望遠鏡 CHIME による SGRB からの残光観測に向けた解析パイプライン開発	9:30	銀河4 國分 厚志 (M1) QU-fitting による複雑なファラデースペクトルの構築
8月26日 13:15-14:15 C会場		8月24日 10:00-11:00 C会場	
13:15	コン21 野際 洗希 (M1) ショートガンマ線バーストを用いた中性子星合体からの物質放出量の調査	10:00	銀河5 二木 惇太郎 (M1) ファラデートモグラフィーを用いた銀河磁場探査
13:30	コン22 土本 菜々恵 (M1) キロノバのスペクトルで探る r-process 元素合成の痕跡	10:15	銀河6 山崎 雄太 (D1) 銀河の確率的モデリングと大規模サンプリングで探る元素存在量確率分布の銀河進化
13:45	コン23 桑田 明日香 (M1) 非回転ブラックホールまわりの移流優勢降着流の一般相対論的磁気流体シミュレーションについて	10:30	銀河7 常盤 辰 (M1) 降着した球状星団ストリームを通したダークマターの性質の調査
14:00	コン24 久世 陸 (M1) パルサーの磁場と降着円盤の相互作用を利用した回転エネルギーの効率的な引き抜き機構	8月24日 13:15-14:15 C会場	
8月26日 14:30-15:30 C会場		13:15	銀河9 平島 敬也 (M1) 団の高速・高精度シミュレーション用アルゴリズム BRIDGE とその応用
14:30	コン25 八谷 卓朗 (M1) ニューラルネットワークを用いたパルサー探索	13:30	銀河10 朝野 哲郎 (M2) バー共鳴によって作られる Hercules stream の3重構造
14:45	コン26 今澤 遼 (M1) 電波銀河 IC310/NGC1275 の GeV TeV ガンマ線の時間変動の研究	13:45	銀河11 吉田 雄城 (M2) 渦状腕構造中の星のエピサイクル位相同期メカニズム
15:00	コン27 佐藤 優理 (M1) GeV/TeV 帯域で検出されたガンマ線バーストの初期 X 線残光における緩慢減衰期の統計的性質	14:00	銀河12 佐藤 元太 (M2) 軌道計算に基づく天の川銀河ハローの構造解析
8月26日 15:45-16:45 B会場		8月24日 14:30-15:30 B会場	
15:45	招待講演 大神 隆幸 (甲南大学) すばる望遠鏡/HSC を用いた重力波対応天体の探査	14:30	招待講演 諸隈 佳菜 (東京大学) 居住環境が銀河の低温星間物質・星形成の性質に与える影響
		8月24日 15:45-16:45 C会場	
		15:45	銀河13 掛川 魁 (M1) Gaia DR 2 による観測的 HRD の作成
		16:00	銀河14 磯部 優樹 (M2) すばる/HSC で探る近傍極金属欠乏銀河の動力学
		16:15	銀河15 北條 妙 (M1) 空間分解した近傍渦巻銀河におけるダスト減光量と星形成率, 星質量関係
		16:30	銀河16 梶川 明祐実 (M2) 空間分解した星質量-星形成率関係から見る銀河内部での星形成活動と分子ガスの割合

銀河・銀河団

銀河・銀河団

8月25日 10:00-11:00 C会場	
10:00	銀河 17 安達 孝太 (M1) スペクトルのモデル計算による Recently Quenched Galaxy の星形成史の推定
10:15	銀河 18 美里 らな (M2) すばる望遠鏡で見つかった青い銀河団の高温ガスの性質
10:30	銀河 19 山本 直明 (D1) すばる超広視野観測で解明する銀河形成最盛期以降の大規模構造形成と銀河進化
10:45	銀河 20 安藤 誠 (D1) 宇宙の星形成最盛期 $z=2$ における原始銀河団コアの系統的探査
8月25日 11:15-12:15 C会場	
11:15	銀河 21 米倉 直紀 (M2) $z = 2.39$ 53W002 原始銀河団における大質量銀河候補の探査と性質の調査
11:30	銀河 22 大工原 一貴 (M1) 銀河形成最盛期における小質量銀河の星形成活動
11:45	銀河 23 青山 皓平 (M2) ALMA で探る原始銀河団の環境効果
12:00	銀河 24 伊藤 慧 (D2) HSC 広視野撮像観測による $z = 4$ における原始銀河団銀河の光度関数
8月25日 15:40-16:40 B会場	
15:45	招待講演 澁谷 隆俊 (北見工業大学) 銀河形態 - 現状の理解と未解決問題 -
8月26日 8:45-9:45 C会場	
8:45	銀河 25 牛尾 海登 (M2) $z = 1.45$ の星形成銀河における分子ガスの内部分布
9:00	銀河 26 萩本 将都 (M1) 大型ミリ波望遠鏡 LMT を用いたサブミリ波銀河の高励起一酸化炭素回転遷移輝線のスペクトル解析
9:15	銀河 27 中野 すずか (M2) ALMA で探る近傍活動銀河核 NGC 7469 中心領域の熱源診断
9:30	銀河 28 植松 亮祐 (M1) XCLUMPY モデルを用いた Circinus galaxy におけるトーラス内縁半径の推定
8月26日 10:00-11:00 C会場	
10:00	銀河 29 牧野 和太 (M1) 輻射流体計算による活動銀河核周辺ガスの多相構造の解明
10:15	銀河 30 城 知磨 (M2) SDSS/MaNGA データを用いた狭輝線領域の起源に関する調査
10:30	銀河 31 Ren Yi (M1) An introduction of the paper about IR-bright DOGs
10:45	銀河 32 登口 暁 (D3) すばる望遠鏡 HSC で発見された "blue-excess dust-obscured galaxies (BluDOGs)" の可視光線スペクトル

8月26日 11:15-12:15 C会場	
11:15	銀河 33 仲 宇星 (M1) Convolutional Neural Network in Astrophysics
11:30	銀河 34 瀬戸口 健太 (M2) SXDS 領域における $z \sim 1.4$ の AGN の研究
11:45	銀河 35 松田 慧一 (M1) AGN の同定を目的とした JVLA による SSA22 原始銀河団の連続波観測データ解析
12:00	銀河 36 山本 優太 (M1) すばる望遠鏡 Hyper Suprime-Cam を用いた高赤方偏移電波銀河の調査
8月27日 8:45-9:45 A会場	
8:45	銀河 37 三橋 一輝 (M2) ALMA を用いた $z > 4$ サブミリ波銀河の統計的調査
9:00	銀河 38 菊地原 正太郎 (D2) 輝線強度マッピングで探る $z \sim 2-7$ 星形成銀河周りの巨大ライマン α 構造
9:15	銀河 39 浅田 喜久 (M1) Constraint on H α Luminosity Function at $z = 7.8$ probed by HST and Spitzer
9:30	銀河 40 徳岡 剛史 (M1) 赤方偏移 $z = 9.11$ [OIII] 輝線銀河の ALMA 観測データ解析

太陽・恒星

太陽・恒星

8月24日 14:30-15:30 C会場	
14:30	太恒 1 石川 遼太郎 (D2) 深層学習を用いた乱流場の水平速度診断手法の開発
14:45	太恒 2 正木 寛之 (M1) ディープラーニングの活用した太陽光球における水平速度場予測
15:00	太恒 3 石倉 秋人 (M2) 太陽黒点における磁場強度と力の関係について
15:15	太恒 4 高畑 憲 (M2) 太陽表面における磁場要素の磁束、磁場強度、移動速度の関係
8月24日 11:15-12:15 C会場	
11:15	太恒 5 木原 孝輔 (D1) 太陽高エネルギー粒子 (SEP) とコロナ質量放出 (CME) の関係性に対する統計的研究
11:30	太恒 6 長澤 俊作 (M2) 超小型衛星で迫る太陽フレアからの熱的・非熱的放射の時間発展と粒子加速
11:45	太恒 7 井上 大輔 (M1) 活動領域からのアウトフローと遅い太陽風の関連性の FIP 効果による検証、および突発現象への応用
12:00	太恒 8 清水 公彦 (M1) 低質量星におけるアルフベン波駆動の磁気回転風について
8月25日 10:00-11:00 A会場	
10:00	太恒 9 岩崎 巧実 (M2) 狭帯域フィルターを使った金属欠乏星搜索
10:15	太恒 10 北古賀 智紀 (M1) 多波長同時観測で迫るおうし座 UX 星で生じた巨大フレアの特徴
10:30	太恒 11 岡本 豊 (M1) TESS と MAXI を用いた巨大恒星フレアにおける白色光フレアエネルギーと X 線最大光度の関係
8月25日 11:15-12:15 B会場	
11:15	招待講演 本田 敏志 (兵庫県立大学) 活動性を示す恒星の観測と今後への期待
8月26日 8:45-9:45 B会場	
10:45	太恒 13 山崎 大輝 (D1) 飛騨天文台 SMART-TEM 偏光キャリブレーション
9:00	太恒 14 木村 なみ (M1) 京都大学飛騨天文台 SMART/SDDI を用いたフィラメント噴出・消失現象の 3 次元速度場の導出
9:15	太恒 15 田中 宏樹 (M2) 太陽の CaK 線撮像分光観測による紫外線放射の推定
9:30	太恒 16 森塚 章恵 (M1) 太陽表面リム境界近傍におけるドップラー速度観測から迫る対流の三次元構造

8月26日 13:15-14:15 B会場	
13:15	招待講演 堀田 英之 (千葉大学) 太陽ダイナモ問題解決に向けて
8月26日 14:30-15:30 A会場	
14:30	太恒 17 古谷 侑士 (D1) 太陽光球中の磁気リコネクションで発生するジェット状構造の形成機構
14:45	太恒 18 富野 芳樹 (M2) 部分電離プラズマ中で起きる磁気リコネクションの数値的研究
15:00	太恒 19 村上 享平 (M2) 太陽コロナを想定した磁気リコネクションの Hall MHD 計算
15:15	太恒 20 白戸 春日 (M1) 飛騨天文台 SMART 望遠鏡を用いた光球 5 分振動由来の磁気流体波の彩層へのエネルギー輸送の観測的研究
8月27日 8:45-9:45 C会場	
8:45	太恒 21 栗山 直人 (M2) 大質量星進化後期において繰り返し発生する爆発的質量放出現象の輻射流体力学シミュレーション
9:00	太恒 22 西河 笙太 (M1) ニューラルネットを用いた closure 関係の研究
9:15	太恒 23 長塚 知樹 (M1) Wolf Rayet 連星 WR102-1 の X 線長期モニター観測

8月24日 17:00-18:00 A会場	
17:00	星間1 木下 真一 (M2) 衝撃波と星間雲の相互作用を探る数値シミュレーション
17:15	星間2 前田 龍之介 (D1) 中性水素ガス衝突による大質量星団形成の初期条件依存性についての研究
17:30	星間3 山田 麟 (M1) NGC 2023 における星形成
17:45	星間4 津田 雅弥 (M1) 銀河中心領域の電子・陽電子対消滅線観測の現状とSMILE-3計画
8月25日 8:45-9:45 B会場	
8:45	星間5 渡邊 裕人 (M1) 銀河系中心分子層で発見されたHVCC forestの観測的研究
9:00	星間6 宇留野 麻香 (M2) 銀河系中心に存在する高速度分子雲の自動同定及び統計的研究
9:15	星間7 西山 苑実 (M1) アンテナ銀河NGC4038/4039における広速度幅分子雲の探査
8月25日 10:00-11:00 B会場	
10:00	招待講演 竹川 俊也 (神奈川大学) 銀河系中心と僕
8月26日 10:00-11:00 B会場	
10:00	星間9 土岡 智也 (M1) 著しく非対称な重力崩壊型超新星残骸G350.1-0.3におけるイジェクタ速度の測定
10:15	星間10 樋口 諒 (M1) 宇宙線のフェルミ加速の計算法と精度の比較
10:30	星間11 西野 将悟 (M2) 数値計算を用いた宇宙線加速に向けたテスト計算とその応用
10:45	星間12 小橋 亮介 (M2) middle-aged 期に至る超新星残骸からの非熱的放射の計算
8月26日 11:15-12:15 B会場	
11:15	招待講演 霜田 治朗 (名古屋大学) Basic reviews on Galactic cosmic-ray origin
8月27日 10:00-11:00 B会場	
10:00	星間13 火物 瑠偉 (M1) 超新星残骸W28における過電離プラズマの生成機構の観測的研究
10:15	星間14 小柴 鷹介 (M1) XMM-Newton 衛星搭載のRGSを用いた超新星残骸J0453.6-6829のX線精密分光による共鳴散乱と電荷交換の探索
10:30	星間15 佐藤 諒平 (M1) XMM-Newton/RGSを用いた超新星残骸G292.0+1.8のX線精密分光
10:45	星間16 大城 勇憲 (M1) XMM-NewtonとNuSTARによるIa型超新星残骸3C397の鉄族元素の空間分布測定

8月24日 10:00-11:00 A会場	
10:00	星惑1 竹村 英晃 (D1) オリオン A 分子雲の分子雲コアの質量関数で探る星の形成シナリオ
10:15	星惑2 森井 嘉穂 (M1) 赤外線暗黒星雲G23.477における星形成活動の検出
10:30	星惑3 上野 皓斗 (M1) 回転・磁場を考慮した星間雲の構造と安定性と進化
10:45	星惑4 吉田 大輔 (M2) 深層学習を用いた天文データ解析手法の開発：分子雲コアの同定及び解析
8月24日 11:15-12:15 A会場	
11:15	星惑5 原田 直人 (M2) 大質量近接連星の形成における磁気制動の重要性
11:30	星惑6 石原 昂将 (M1) ALMAによる大質量星形成領域でのコアスケールの分裂過程の統計解析
11:45	星惑7 中村 桃太郎 (M2) 6.7 GHz メタノールレーザーは大質量原始星からのアウトフローに付随するか？G59.783+0.065の内部固有運動の研究・続
12:00	星惑8 山下 真依 (M2) Ca II 三重輝線とMg I 輝線を用いた若い恒星の彩層活動の調査
8月24日 15:45-16:45 C会場	
15:45	星惑9 東 翔 (M2) 収縮するミニハローにおける乱流の増幅
16:00	星惑10 定成 健児エリック (M2) 磁場環境化での初代星形成
16:15	星惑11 中村 和貴 (M1) 初代星の形成
16:30	星惑12 前田 夏穂 (M2) 鉛直降着流による周木星円盤へのガリレオ衛星材料物質の供給
8月24日 17:00-18:00 C会場	
17:00	星惑13 胡 博超 (M1) 周惑星円盤の赤外線・電波観測のモデル計算：衛星形成の条件
17:15	星惑14 木原 遥大 (M1) 円盤の熱進化を考慮した天王星周りの衛星形成
17:30	星惑15 長谷川 祐一 (M1) N体計算を用いた巨大天体衝突に伴う衛星系形成のパラメータスタディ
17:45	星惑16 村嶋 慶哉 (M1) 衛星の内部海のシミュレーションのためのSPH法のコード開発

星・惑星形成

観測機器

8月25日 13:15-14:15 C会場	
13:15	星惑 17 中野 龍之介 (D1) 原始惑星系円盤進化の中心星質量への依存性
13:30	星惑 18 駒木 彩乃 (M1) 原始惑星系円盤の光蒸発シミュレーション: 中心星質量依存性
13:45	星惑 19 川上 碧 (M1) 土星の偏光観測
14:00	星惑 20 紅山 仁 (M2) Tomo-e Gozen サーベイデータに対するランダムフォレストを用いた移動天体検出システムの開発
8月25日 14:30-15:30 B会場	
14:30	招待講演 徳田 一起 (大阪府立大学/国立天文台) 最新電波望遠鏡で星の卵の進化を追う 星誕生の瞬間を求めて
8月26日 14:30-15:30 B会場	
14:30	招待講演 小久保 英一郎 (国立天文台) 楽しい粒子円盤系—もしくは惑星系の構造と起源
8月26日 15:45-16:45 C会場	
15:45	星惑 21 辰馬 未沙子 (D2) 原始惑星系円盤でのガス流が引き起こす高空隙ダストの自転による破壊
16:00	星惑 22 河合 航佑 (M2) 惑星形成における衝突破壊の再検討
16:15	星惑 23 土井 聖明 (M1) 原始惑星系円盤 HD 163296 のミリ波連続波観測からのダストスケールハイトの制限
16:30	星惑 24 岡村 達弥 (M1) 原始惑星の重力を考慮した原始惑星系円盤ガス流中での固体小天体集積の見積もり
8月27日 11:15-12:15 C会場	
11:15	星惑 25 笠木 結 (M2) IRD-SSP による M 型星周りの惑星検出に向けた視線速度測定の安定性向上について
11:30	星惑 26 桑田 敦基 (M2) 惑星ドック: 太陽系外惑星を CT スキャンし世界地図を描く
11:45	星惑 27 赤木 晋 (M1) バイナリーレンズにおける重力マイクロレンズ法による太陽系外惑星の電波放射観測
12:00	星惑 28 藤田 菜穂 (M1) 短周期 super-Earth の大気散逸による軌道進化

8月24日 8:45-9:45 B会場	
8:45	観測 1 寺内 健太 (M1) 新型大気蛍光望遠鏡による極高エネルギー宇宙線の観測
9:00	観測 2 加藤 勢 (D1) ALPAQUITA 実験による南天の最高エネルギーガンマ線天文学の開拓
9:15	観測 3 佐々木 寅旭 (M1) C T A 大口径望遠鏡に用いる光電子増倍管の性能評価
9:30	観測 4 バクスター ジョシュア稜 (M1) IACT における Gamma hadron separation について
8月24日 10:00-11:00 B会場	
10:00	観測 5 宇佐見 雅己 (M1) 超小型衛星 SONGS 搭載太陽中性子・ガンマ線検出器の積層プラスチックシンチレータ部の性能評価
10:15	観測 6 野橋 大輝 (M2) 集積回路 ASIC を用いた超小型衛星搭載用太陽中性子・ガンマ線検出器の性能評価
10:30	観測 7 吉田 有良 (M1) 銀河系内外拡散 MeV ガンマ線観測のための高角度分解能化を目指した SMILE-3 計画
8月24日 13:15-14:15 B会場	
13:15	招待講演 武田 伸一郎 (東京大学) 装置開発ライフを楽しむ
8月24日 14:30-15:30 B会場	
14:30	観測 9 八木 雄大 (M2) 太陽アクシオン探索に特化した超伝導遷移端型 X 線マイクロカロリメータの開発
14:45	観測 10 田中 圭太 (M1) TES 型マイクロカロリメータにおけるインピーダンス測定
15:00	観測 11 小林 紘之 (M1) 超伝導量子干渉計を用いた断熱消磁冷凍機下での X 線検出機読み出し環境の構築
15:15	観測 12 加藤 颯 (M1) X 線マイクロカロリメータ用断熱消磁冷凍機の常磁性体カプセルの開発
8月25日 8:45-9:45 C会場	
8:45	観測 13 渡邊 泰平 (M1) 硬 X 線偏光撮像システムを搭載した超小型衛星のための軌道上バックグラウンド評価
9:00	観測 14 畠内 康輔 (M2) CMOS イメージセンサを用いた硬 X 線撮像偏光計の開発
9:15	観測 15 井上 諒大 (M1) 湾曲 Si 結晶を用いたブラッグ反射型偏光計の分光性能評価
9:30	観測 16 内野 友樹 (M1) 高温塑性変形技術を用いた湾曲ブラッグ結晶偏光計の開発

講演プログラム

観測機器

観測機器

8月25日 13:15-14:15 A会場		8月27日 8:45-9:45 C会場	
13:15	観測 17 橋 建志 (M1) 金沢大学超小型衛星搭載広視野 X 線撮像検出器 T-LEX の撮像性能試験とその評価	8:45	観測 33 西ノ宮 ゆめ (M2) CMB 偏光観測に用いる TES の電氣的・熱的特性評価および光学試験の進捗状況
13:30	観測 18 藤田 康平 (M1) 多重薄版型 KB ミラーの光学設計	9:00	観測 34 村田 雅彬 (M2) 次世代 CMB 偏光観測実験 Simons Observatory の小口径望遠鏡に搭載する偏光角校正装置の製作と性能評価
13:45	観測 19 作田 紗恵 (M1) MEMS 技術を用いた Schmidt 配置 Lobster eye 光学系の開発	9:15	観測 35 寺崎 友規 (M1) CMB 偏光観測に用いるマイクロ波多重化読み出し回路の性能評価
14:00	観測 20 芳野 史弥 (M2) Athena 衛星に搭載する SPO 望遠鏡の DLC コーティング	9:30	観測 36 坂栗 佳奈 (M1) 宇宙マイクロ波背景放射 (CMB) 実験で用いる反射防止膜 (AR coating) の作成と性能評価
8月25日 15:45-16:45 C会場			
15:45	観測 21 川本 莉奈 (M2) 鹿児島大学 1m 望遠鏡用可視光 2 波長同時撮像装置の開発		
16:00	観測 22 沖中 陽幸 (M1) せいめい望遠鏡における近赤外偏光撮像装置のための波長板回転機構の設計と製作		
16:15	観測 23 坂部 健太 (M2) 「小型屈折型補償光学装置 CRAO の開発: AO シミュレーションによるエラーバジェットの評価」		
16:30	観測 24 渥美 直也 (M1) 極限補償光学における tip/tilt 補償装置の開発		
8月25日 17:00-18:00 C会場			
17:00	観測 25 佐藤 大樹 (M1) 近赤外線輻射輸送計算による生体光イメージング: 甲状腺癌の診断に向けて		
17:15	観測 26 柳田 悠記 (M1) 中央大学分光望遠鏡 SCAT に設置した可視光高分散分光器 Lhiresiii の性能評価		
17:30	観測 27 谷口 暁星 (PD) データ科学的装置開発によるサブミリ波分光観測の高感度化		
17:45	観測 28 松英 裕大 (M1) NASCO 受信機の搭載から現在までの開発進捗		
8月26日 15:45-16:45 A会場			
15:45	観測 29 南 大晴 (M1) 1.85m 電波望遠鏡の新 IF 回路の検討		
16:00	観測 30 松本 健 (M1) 1.85m 電波望遠鏡の新制御システム開発		
16:15	観測 31 星野 百合香 (M1) 半波長板の結晶軸のずれが CMB の B モード偏光観測に与える系統誤差の評価		